

がんば

議会だより No.166

令和 6 年度決算	 P 2
9 月定例会・委員会質疑	... P 6
議決結果	 P 8
議員研修・議会のうごき	 P 9

特集「苅田山笠学習会」	 P 10
一般質問	 P 11 ~
あとがき	 P 20

令和6年度
決算認定

収支は黒字！ 未来への積み立て！

令和6年度決算 注目目玉事業

町の予算がきちんと執行されたか、決算特別委員会で慎重審議し、すべての会計決算を認定しました。その中で、議会が注目した目玉事業を紹介します。

次世代を担う子どもたちへの投資

(主な事業)

- ・学習支援ソフト及びフィルタリングソフト使用料：約465万円



タブレット学習

デジタル化(DX)の推進

(主な事業)

- ・庁内ネットワーク更新及び保守業務委託料：約2803万円
- ・荻田町LINE公式アカウントを活用したシステムの導入：約947万円

荻田町LINE
公式アカウント
友だち登録
お願いします！



健やかな地域社会の実現

(主な事業)

- ・こども家庭相談ソーシャルワーカー委託料：約336万円
- ・がん検診予約受付業務委託料：約617万円

がん検診の予約方法



安全安心なまちづくりの推進

(主な事業)

- ・次世代自動車購入費補助金：約647万円
- ・避難所用備品(自動ラップ式トイレ等)：約35万円



自動ラップ式トイレ

快適な都市基盤の整備

(主な事業)

- ・小波瀬西工大前駅周辺整備計画調査業務委託料：約995万円



小波瀬西工大前駅

活力ある産業・観光の振興

(主な事業)

- ・臨空産業公園設計業務委託料：約983万円



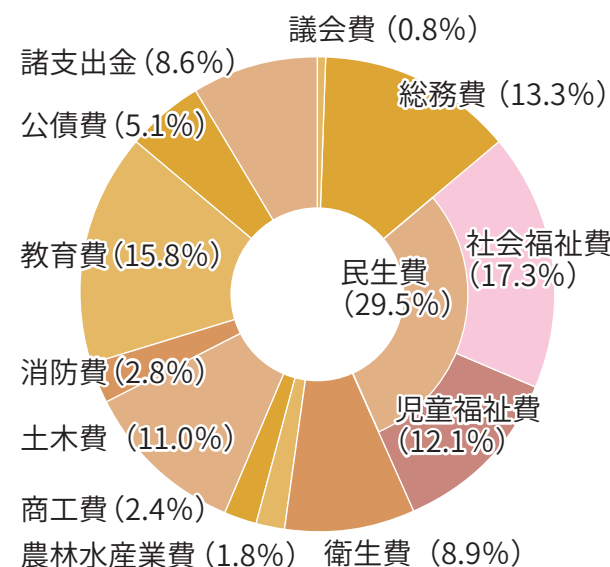
臨空産業公園

令和6年度 一般会計決算について

歳入は昨年度に比べ10・1%増の199億298万円、歳出は11・8%増の186億6165万円、差引額は12億4133万円となりました。また、翌年度に繰り越すべき財源は8326万円で、実質収支は11億5807万円の黒字となりました。本年度の実質収支から昨年度の実質収支を差し引いた単年度収支は1億1726万円の赤字となりました。赤字の要因は、公共施設更新に備えるため、基金に積み立てたことによるものです。決算特別委員会の審議の内容は、4～5ページをご覧ください。※表示単位未満は四捨五入のため端数が合わない場合があります。

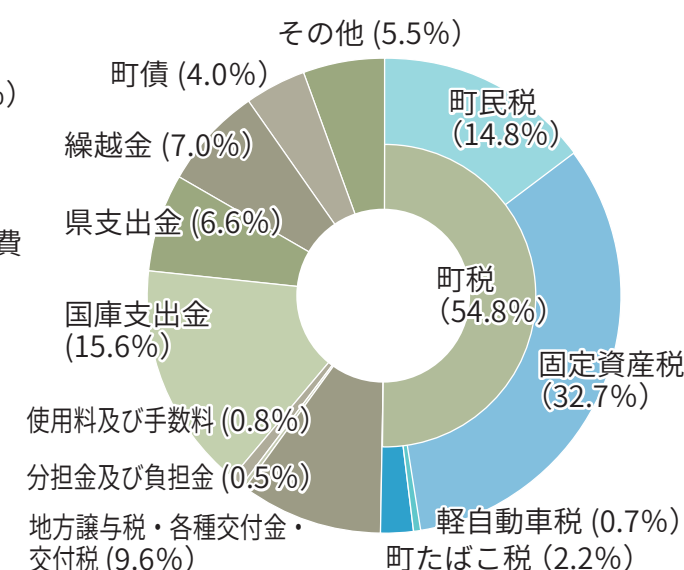
歳出

歳出合計 186 億 6165 万円



歳入

歳入合計 199 億 298 万円



歳入① 199 億 298 万円
歳出② 186 億 6165 万円
差引①-② 12 億 4133 万円

※表示単位未満は四捨五入のため端数が合わない場合があります。

健全財政を維持しています

- ・財政力指数：1.308
- ・経常収支比率：80.1%

財政力指数とは…財政運営の自主性の大きさを表す指数
経常収支比率とは…財政の弾力性を表す指標

委員会質疑

決算

特別委員会

●一般会計

【総務費】

Q 自己啓発助成金の内容と人数は。

A 職員の資質向上能力開発のため、自主的に受ける通信教育

費で7人が受講した。

Q ふるさと応援寄付金返礼品の数と新しい開発は。

A 337品目。組み合わせなどの工夫は随時行っており、寄付金も増加傾向にある。広域的な返礼品開発も検討中。

Q 老朽危険空き家判定業務委託料の内容と件数は。



日本語教室

A 空き家を解体する際に老朽度を判定する。申請件数は5件のうち3件が判定された。

Q 軟骨伝導イヤホンの利用状況と今後の方向性は。

A 生活者向けは、日本人ボランティア講師が1人につき外国人2、3人を指導し、71人が登録。就労者向けは、1期10人程度で、年間2期から3期の開催で、本格的な日本語教師によるオンライン授業を行っている。

A 令和6年10月から導入し、利用件数は21件。今後、ニーズがあれば庁内にて広めていきたい。

Q 障がい者自動車運転免許取得費助成金による取得状況と周知方法は。

A 3件。苅田自動車学校にて周知をして

Q 次世代自動車購入費補助金の補助件数と今後の方針は。

A 令和4年からの3年間で173件。今年度からは自動車産業支援として進める。今後、次世代自動車の売り上げが向上し

【民生費】

Q 4階建て以上、長寿命化計画にのっとり外壁工事などを行う。それ以外は、その都度修繕し、状態の悪いものは用途廃止を行い募集停止する。

Q 令和4年からの3年間で173件。今年度からは自動車産業支援として進める。今後、次世代自動車の売り上げが向上し

A 令和4年からの3年間で173件。今年度からは自動車産業支援として進める。今後、次世代自動車の売り上げが向上し

A 令和4年からの3年間で173件。今年度からは自動車産業支援として進める。今後、次世代自動車の売り上げが向上し

【観光費】

A 青竜林道は、工事発注済みで、3力年の計画で進めている。山入林道は、用途がたっていない。

Q 道路復旧が必要と考えている。本町にとって特別な地域であり、現状はボランティアも多く、地域の方の意見を聞きながら対応したい。



軟骨伝導イヤホン

【土木費】

Q 道路カメラの設置工事の内容は。

A 町道南原・殿川線のアンダーパスにカメラを設置する。

Q 公営住宅の修繕は、傷み具合によっては多額の費用がかかるが、どこまでやるのか。

A 4階建て以上、長寿命化計画にのっとり外壁工事などを行う。それ以外は、その都度修繕し、状態の悪いものは用途廃止を行い募集停止する。

Q 今後の住宅施策の方針は。

A 長寿命化計画を策

【消防費】

Q 消防職員の不足は。

A 定数50人に対し47人。今年度3人の追加を予定している。

Q 自主防災組織の数と活動状況は。

A 35区。防災訓練を行っている区もあるが、活動していない区もある。

Q 活動できていない区の数など、状況は把握しているのか。

A 令和5年度は9区で防災訓練を行って



まちづくり自販機

いる。各区の事情もあり積極的に活動できていない状況もある。町からの声掛けや町内に在住の防災士とつながりをつくってもらい、防災士を中心に訓練できるように支援したい。

Q 不登校の子もたちへのサポート体制は。

A 不登校専門の指導主事を配置し、自宅に訪問して保護者面談するなどのアウトリーチ支援や級友調査を2回に増やすなど、未然防止に努めている。

Q 不登校の生徒数と、その中でヤングケアラーに該当する生徒はいるのか。

A 不登校は134人

●歳入

Q まちづくり事業支援自販機は、何台設置しているのか。

A 14台。

Q 自販機の電気料があがっているが。

A 電気料の高騰やアイス自販機の影響と考える。

一般会計補正予算等28件を審議

8月26日
～
9月19日

補正予算

令和7年度荊田町一般会計補正予算（第2号）は、歳入歳出それぞれ8億5991万6千円を追加し、総額は20億1291万9千円。

条例

●荊田町こども施策審議会条例

令和4年に制定された子ども基本法に基づき、こども政策全般を扱い、こどもの最善の利益を中心に据えた調整と監視を行う「こども施策審議会」を新たに設置。

条例改正

●荊田町議会議員及び荊田町長の選挙における選挙運動の公費負担

に関する条例
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴う必要の改正。

●荊田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う必要の改正。

●荊田町職員の育児休業等に関する条例

業等に関する条例
育児・介護休業法及び人事院規則の改正に伴う必要の改正。

その他の議案

●町道路線の認定

雨窪（取石神社の横）ほか3件の開発地内道路の町道認定。

●工事請負契約の締結（荊田町総合福祉会館改修工事）

池田興業(株)を工事請負人と定める。

●工事請負契約の締結（西部公民館改修工事）

委員会質疑

総務

常任委員会

●一般会計補正予算【総務費】

●公用車のリース料期間は。

●当初は5年間。その後は再リースする。

●今回の補正は半年の2台分。

●来年2月からの2か月分。

●荊田町議会議員及び荊田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定

●内容は。

●公職選挙法施行令

資料館解体工事

●再入札となった経緯は。

●一回目入札の落札業者が、資格者がいないとの理由で辞退した。その業者は指名停止にし、再入札した。

●工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更（荊田中学校長寿命化改修工事）

●変更の理由は。

●改修箇所が予定より多くなったため。

＊令和7年度補正予算（歳出で補正した主なもの）

【一般会計（第2号）】	
・社会福祉施設等物価高騰対策支援金	339万円
・少子化対策保育料補助金	650万円
・保育所等給食支援費補助金	1032万円
・自動車産業支援次世代自動車購入費補助金	1000万円
・道路新設改良工事（白石交差点改良事業）	1億3900万円
・殿川水路用地購入	4860万円
・新津中学校外壁改修工	1166万円
設計業務委託料	
・GIGA系ネットワーク機器入れ替え	1074万円
・提遺跡群発掘調査支援業務委託	478万円
【介護保険特別会計補正予算（第2号）】	4720万円

産業建設

常任委員会

●一般会計補正予算（第2号）

【農林水産業費】

●猪対策にあたる会計年度任用職員の募集方法と増員予定は。

●公募により募集した。増員の予定はない。

●リースセンター設備更新工事の内容は。

●粗製機に送るベルトのゴムを交換。

【商工費】

●自動車産業支援次世代自動車購入費補助金の対象期間は。

●令和7年10月から令和9年3月末までの2年半。

【土木費】

●殿川水路用地購入の経緯は。

●現在、水が流れている水路の維持管理のため、用地を取得する。

●荊田町給水条例の一部を改正する条例の制定

●この条例の制定でのメリットは。

●災害により地域の業者が対応できない場合でも、迅速に復旧対応が可能となる。

●工事協定の締結についての議決内容の一部変更（桜ヶ丘歩道橋工事）

●工事完了の時期は。

●令和8年3月末までの完了予定だが、引き渡し及早まる可能性がある。

厚生文教

常任委員会

●一般会計補正予算

救済給付金の内容は。

●通常の定期接種の給付金と同じ取り扱いになり、科目を組み替えた。

●介護保険特別会計補正予算（第2号）

●基金繰入金が減額されているが、運営の状況は。

●準備金を取り崩さずに運営できている。

●本町の介護認定判定は厳しくないか。

●認定審査会において共通の認識で審査している。

●工事請負契約の締結（西部公民館改修工事）

●改修の内容は。

●外装含めた修繕。屋根部分は、雨漏り防止にガルバリウム鋼板を用いて意匠的に考慮した。

●工事請負契約の締結（三原文化会館・歴史

研 修 報 告

ハラスメント研修

7月9日（水）、ホテル日航福岡で福岡県議会主催のハラスメント研修会がありました。

小田理恵子氏「地方議会におけるハラスメントの実態と防止策」、山口真一氏「SNS時代の誹謗中傷問題」についての講演があり、本町議会より5人が参加しました。



常任・議会運営委員長・副委員長研修会

8月27日（水）、福岡国際会議場とオンラインを併用し、（苅田町議会はオンライン）効率的な議会運営、委員会運営の向上を目的に、「委員会の制度と運営について」をテーマに研修が行われました。

町村議会1期目議員等研修会

8月21日（木）、福岡県自治会館にて町村議会1期目議員等研修会が行われ、本町議会より3人が参加しました。

演題は「対話する議会・議員」を目指して～住民との意見交換会での「SOUNDカード™」の活用法～、講師は青森大学社会学部教授・早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員 佐藤 淳氏でした。

講演では、「SOUNDカード™」の活用法や、ワークショップの実例を紹介。住民懇談会や議会報告会で、住民の意見を出しやすくするためのツールとして「SOUNDカード™」など、心理的安全性が高く、参加者のしゃべりたいことを引き出すことができます。自分の意見を言える環境をつくることは参加者の満足度を上げ、主催する側も参加者の意見集約ができることから、本町の議会報告会などで取り入れると良いのではないかと思います。

議 会 の う ご き

7月	8日	議会広報特別委員会(第165号の企画編集)
	9日	ハラスメント根絶のための議員研修
	14日	議会広報特別委員会(第165号の企画編集)
8月	20日	全員協議会
	21日	1期目議員等研修会
	22日	議会運営委員会

8月	26日	令和7年第4回議会定例会（開会）、議会広報特別委員会（第166号の企画編集）、決算特別委員会
	27日	常任・議会運営委員長・副委員長研修会
	29日	議案質疑
9月	4～5日	一般質問
	9日	付託委員会
	11～12日	決算特別委員会
	19日	令和7年第4回議会定例会（閉会）、議会広報特別委員会（第166号の企画編集）

12月定例会

*会期は12月2日（火）から12月19日（金）まで
*一般質問は12月11日（木）・12日（金）・15日（月）
*問合せ先 議会事務局 ☎093・434・1981

議会中継

9月末時点アクセス件数
ライブ中継 490件
録画 中継 3485件
（令和6年4月からの累計）

令和7年第4回苅田町議会定例会議決結果一覧表

番 号	件 名	角崎明美	森琢磨	福山直樹	田淵朗	末石伸二	花見文敏	村上智宣	岩谷潔	尾形均	白石学	友田敬而	小山信美	武内幸次郎	坂本東二郎	榎谷忠明	沖永議長	結 果	
議案第56号	令和7年度苅田町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第57号	令和7年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第58号	令和7年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第59号	令和7年度苅田町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第60号	令和7年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第61号	令和7年度苅田町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第62号	令和7年度苅田町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第63号	令和6年度 決算の認定について（苅田町一般会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第64号	令和6年度 決算の認定について（苅田町国民健康保険特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第65号	令和6年度 決算の認定について（苅田町後期高齢者医療特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第66号	令和6年度 決算の認定について（苅田町介護保険特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第67号	令和6年度 決算の認定について（苅田町土地区画整理事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第68号	令和6年度 決算の認定について（苅田町住宅新築資金等特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第69号	令和6年度 決算の認定について（苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第70号	令和6年度 決算の認定について（京都郡公平委員会特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第71号	令和6年度 決算の認定について（苅田町下水道事業会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第72号	令和6年度 決算の認定について（苅田町水道事業会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第73号	苅田町議会議員及び苅田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第74号	苅田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第75号	苅田町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第76号	苅田町こども施策審議会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第77号	苅田町給水条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第78号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第79号	工事請負契約の締結について（苅田町総合福祉会館改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第80号	工事請負契約の締結について（西部公民館改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第81号	工事請負契約の締結について（三原文化会館・歴史資料館解体工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第82号	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について（苅田中学校校長寿命化改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第83号	工事協定の締結についての議決内容の一部変更について（桜ヶ丘歩道橋工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

○－賛成、×－反対 ※議長（沖永義樹）は採決に加わらない。ただし、賛成と反対が同数の場合は、議長が可否を決定する。

一般質問内容一覧

9月定例会において
8名の議員が質問



質問者氏名	質問要旨	掲載
小山 信美	1. 小波瀬西工大前駅周辺整備事業 2. RS ウイルス感染症対策	12 ページ
武内幸次郎	1. 日産自動車の移管統合について 2. 公営住宅長寿化計画 3. 小規模校の現状と課題	13 ページ
尾形 均	1. 職員の中途退職について 2. 日産自動車の経営危機について 3. 特急電車の朽網駅停車について	14 ページ
角崎 明美	1. 本町における子育て支援について	15 ページ
岩谷 潔	1. 渋滞対策 2. 事務事業評価	16 ページ
森 琢磨	1. 町長の三期目に向けての意気込み、抱負などについて 2. 8月10日の大雨による被害について 3. 育成会・子ども会と行政の関わりについて	17 ページ
福山 直樹	1. 農福連携について 2. 身寄りのない高齢者の支援について 3. 無縁墓地について	18 ページ
白石 学	1. 防災・減災 2. 乳幼児健診	19 ページ

一般質問について掲載している内容は、会議録に基づき質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。なお、一般質問の録画映像は、苅田町議会ホームページでご覧いただけます。



伝承授業で色付けされた岩飾り

苅田山笠保存振興会による 苅田山笠 伝承授業

町内小学校（苅田・馬場・南原・与原）で開催

苅田山笠保存振興会は、9月、町内4小学校を対象に苅田山笠伝承授業を行いました。授業では、苅田山笠の歴史、山笠の大きさや数などの概要を解説。鉦や太鼓の実演の後は班に分かれ、山笠に飾り付ける岩飾りへの色塗りを行いました。好きな色、模様など、自由な発想で、皆さん思い思いに色付けをしていました。岩飾りは実際に山笠に飾りつけられました。質問タイムでは、児童からも「なぜ岩を飾るのか」、「山笠は何人がかつぐのか」など、積極的に質問も飛び交い、この授業を通して、次世代へと文化が継承されました。

Q 小波瀬駅周辺整備事業の進捗は

A ワークショップで意見集約



小山 信美（公明党）



Q ワークショップの公募人数と男女比率は。

A 30人。1回目が男性18人、女性7人。2回目16人と5人。

Q 2回目のワークショップ結果の掲載は。

A 予定は9月下旬。

Q 駐車場に関する意見や解決策は。

A 多く確保して欲しい。可能な限り確保したい。

Q 送迎用以外の取り組みは。

A 駅で車を駐車する乗降客用も加味して設計していく。

Q 台数については、利用者や近隣住民の意見を聞くのでは。

A ワークショップを意見集約としている。

Q 交通量の検証方法と回数、日程は。

A 送迎者数と交通量を1回、令和元年に行った。

Q 九耀橋に対する危険の緊急性は。

A かねてより指摘されているが、カラー

舗装などで、今でける状況はこれが精いっぱい。

Q 最終案の決定時期については。

A 今年度末。

Q 完成時期と最終的な金額は。

A 実際に工事着手まで4年から5年。35億円から40億円。

RSウイルス感染症（※）対策

Q 本町での肺炎による死亡者数は。

A 令和4年度で19人。

Q 接種費用は、成人向けで3万3千円、妊婦向けで3万8千円と高額。助成制度の取り組みは。

A 今後の進展と、県内の動向を注視する。

Q 愛知県大府市は、妊婦と高齢者を対象に1万円の助成をしている。この様な取り組みについては。

A 任意接種であり、状況を見ていく。

Q 町民への周知と高齢者への注意喚起は。

A ホームページや広報などで周知。

Q 結核・呼吸器感染症に関する普及啓発の推進は。

A 早急に対応したい。

※RSウイルス感染：RSウイルス感染症による急性の呼吸器感染症で乳幼児に多い感染症。基礎疾患のある高齢者や免疫不全者では、重症化するリスクがある。



熊本市普及啓発ポスター

Q 日産九州への移管統合の受け止めは

A 適切な対応への準備を進める



武内幸次郎（無党派）



Q 千載一遇の好機だ。移管情報の把握は。

A 日産自動車や日産車体からの情報、県からも情報提供を受けている。

Q 9月補正に情報収集への予算措置がない。本気度が感じられないが。

A ある程度状況が見えてきた段階でこの認識だ。

Q 現状で十分対応できるこの認識か。

A 必要な体制を整えていく。

Q 次世代自動車購入支援の補助金1千万円の目的と中身は。

A 関税問題もあり、本町の基幹産業である自動車産業支援の補助金だ。

Q 日産に特化しても支援をやるべきだ。サプライヤー関連誘致へのアピールにもなるのでは。

A 過去3年の支援状況から日産車に対する支援になると見ている。

Q 進出企業を提示で

きる状況ではないが、工業用地確保の好機を逃さぬ対応を。

A 工業用地や住宅用地を確保するため、市街化調整区域、農振用地の規制緩和への好機だ。積極的にアプローチしていく。

Q 工業用地として適地であるパンジープラザ用地。活用の再検討が必要では。

A 真摯に受け止め、検討する。

公営住宅長寿命化計画

Q 計画の見直しで、どこに主眼を置いたのか。

A 維持管理に費用がかかる。ライフサイクルコストの抑制だ。

Q 新たな住宅建設より、民間賃貸住宅借り上げ活用は。

A 比較検討で、長期的には建て替えのほうが安くなるが、人口減少による需要バランスで民間活用も考えられる。

Q 町営は低額所得者に対する賃貸住宅だが、滞納状況は。

A 令和6年度決算では175件、1369万760円。

Q 管理対象戸数のうち205戸は、耐用年数を超過している。



町営住宅（長畑）

集約化を含めた検討は。

A 移転事業と建て替え事業の集約化に向けて事業を進めている。

提言 企業誘致と同時に、定住化促進のための課題克服に尽力すべきだ。

Q 職員の中途退職をなくすためには

A 町民へのサービス提供に価値を見いだす職場にしたい



尾形 均（無会派）



Q 近年の職員の中途退職者数は。

A 令和6年度7人、5年度5人、4年度3人、3年度2人、2年度2人。

Q その原因は。

A 健康、家庭の事情、ワークライフバランスやキャリアアップを求めて、他の自治体へ。

Q 公務員の中途退職者は徐々に増えている。要因は。

A 勤務条件の良いところ、やりたいこと

ができる仕事を求めて転職が活発化。

Q 職員は、町のため、町民のために尽くさなければならぬ。その自覚を持つてもらうよう指導することは、トップのミッションではないか。

A 町の発展のため、町民のためはもちろん、社会人としての倫理感も必要、魅力的な職場を目指す。

職員の町内居住

Q 職員の町内居住率が5割を切った、どう思うか。

A 町内居住が望ましいが、個人の自由なので、強制できない。

Q 幹部が日頃から町内に住むことを啓蒙していけば、少しは改善できるのではないか。

A 望ましいと思うが、強制できない。

Q 自由という中で誘導していく、その指

導力が欠如しているのでは。

A 個人の選択には介入できない。

Q 強制、介入ではなくて、誘導、指導ということ。全てにアンケートチャブルということか。

A 強制できない。

朽網駅の特急停車

Q 今年4月、特急電車の朽網駅停車が始まった。利用状況は。

A 1日の停車本数は10便、利用者は50人。

Q 朽網駅停車となった経緯は。

A 空港の利用促進のため、シャトルバスとあわせて一体的な効果を狙ったようだ。

Q 北九州市は空港大作戦と銘打って活動を展開。本町は利用

促進運動や発信力が劣っているのでは。

A 本町も北九州空港の利用促進策を考え、実行していかなければならない。

Q 本町にとっては産業の振興も含め、町発展には特に必要。今後どうするのか。

A 空港の利用増につ

ながる特急停車以外の方策も検討したい。

提言 本町では、町の浮沈に係る案件。町民が不安を抱く事案に対し、将来のために本気で取り組むべきだ。



朽田駅

Q 子育て支援事業新たな取り組みは

A 第三子以降無償化



角崎 明美（無会派）



Q 現在、本町が行っている子育て支援サービスは。

A 経済支援として、児童手当の支給、医療費の助成、保育料の軽減。母子保健事業として、妊婦健診の助成、歯科健診、産後ケアなど。

Q 現在のサービスで十分だと考えているのか。

A 住民の要望に応じて今後も拡充していきたい。

Q ゼロ歳から5歳の

子を持つ世帯の転入数の推移は。

A 平成28年度から令和3年度までは、年間107から117世帯で推移、令和5年度97世帯、令和6年度79世帯と減少。

Q 転入時の手続きの手順は。

A 住民課で転入手続き、こども課で児童手当などの手続き、妊婦はパンジープラザで妊婦健診の差し替えなどを行う。

Q 2カ所での手続き

は親子にとって負担であり、本庁1カ所で行うことはできないか。

A 現状は専門職がパンジープラザに配置されているため移動が必要。新庁舎ができたときは一箇所で行えるようになる。

Q 令和9年度4月以降、パンジープラザで行われている母子保健事業はどうなるのか。

A 母子手帳発行などの窓口業務、相談業

務はパンジープラザ、乳幼児健診、親子の歯の健診などは福祉会館で行う。

Q 赤ちゃん訪問時、フォローが必要な母親に対して、どのような関わりを持っているのか。

A 保健師などが電話、乳幼児健診、赤ちゃん相談などで確認して、継続的に支援している。

Q 令和7年度から妊婦などへの支援が法制化された。本町での取り組みは。

A 妊娠8か月頃にアンケート調査を実施し、必要に応じて電話、面談などを行ない、妊娠期から産後の育児期まで寄り添い、支援している。

Q こども誰でも通園制度について、令和

8年度から全国的な制度化を目指すとしているが、本町の方針は。

A 現在、町内の保育園、幼稚園、届出保育施設などに対し、実施を打診中。

Q 現在、本町の待機児童問題はあるか。

A 令和4年、5年、6年度はゼロ、令和7年度4月1日時点で3人いたが、7月入園時には解消し、現在はゼロ。



朽田町子育てガイドブック

Q 農福連携の方向性は

A ニーズ把握から始めたい



福山直樹（飛翔の会）



Q 農福連携の目的は。

A 農業と福祉が連携して、両分野のニーズの解決を図る取り組み。

Q 農業分野の担い手不足と福祉分野の障害者就労の状況は。

A 課題は多い。

Q 国や県の動向は。

A 国は、農福連携等推進ビジョンを策定し、県はマニュアル作りなどを進めている。

Q 取り組みの事例はあるのか。

A 京築では、10程度の農業者がスポット的に障がい者を雇用している。本町では、3事業所が生産活動に農業を入れている。

Q 農福連携の検討は。

A 相談がなく、していない。

Q 国や県の支援制度は。

A 厚生労働省と農林水産省に、いくつかある。

Q 役場の相談窓口は。

A 農業者は農政課、福祉事業者は福祉課。

両課が情報交換しながら進めたい。

提言 地域福祉の視点からも有効。積極的な取り組みを求める。

身寄りのない高齢者の支援

Q 本町の、三親等内の親族がいない高齢者の人数は。

A 日本総研の推計によると、現在868人。

Q 行政が死後対応を

する根拠は。

A 墓地埋葬などに関する法律、行旅病人及び行旅死亡人取扱法により適用。

Q 対応件数は。

A 令和2年度5件、3年度6件、4年度11件、5年度6件、6年度3件、7年度4件（8月末）。

Q 国の動向は。

A 日常生活自立支援事業に、死後事務の支援などを加える検討をしている。

Q 本町の対応マニュアルづくりは。

A 検討中。

Q 本人が、死後について考えておくことは大切と思うが。



エンディングノート（イメージ）

A 自分の価値観や生き方について、前もって専門職と共有する取り組みや、エンディングノートの活用など、現在検討している。

自治体。

Q 無縁墓の数は。

A 把握していないが、本町が管理する苅田霊園にはない。

Q 増えて困ることは。

A 草木に覆われ、墓石も悪くなるなど生活環境の悪化。

無縁墓

Q 町内の墓地数は。

A 213ヶ所。

Q 管理責任は。

A 設置者である宗教法人、公益法人、民間事業者、地域住民

Q 防災、内水氾濫への施策は

A 雨水管理総合計画を計画的に進める



白石学（公明党）



Q 温暖化が予想以上の速さで進んでいる。降雨量も多い。地域防災への所見は。

A 神田ポンプ場、尾倉地区、百合ヶ丘区の被害状況を視察。早急の対応を検討。

Q 神田町、幸町団地で浸水。被害の原因は。

A 玉川の神田樋門がネックだ。川の水が海に出ないため、内水氾濫になった。最初に手をつけたい。

Q 玉川のゲート交換

が最優先となつてい

A 町の内水氾濫のための事業と位置づけ、県の予算を待たずに実行したい旨を申し入れている。

Q 浸水対策は雨水管理総合計画が一番か。

A 内水氾濫では、一番だ。今回の大雨で被害が出た3カ所は、新しい対応策を個別に議論している。

Q 県土事務所に排水

ポンプ車がある。出動要請の条件と今回の要請は。

A 推進が1ヶ所、排水先までが100ヶ所以内であること。今回は要請できなかった。

Q ゲート入れ替えは町民にとって大変大きな問題だ。早急に対応を実施して、町民の安心・安全を図るべきでは。

A 県の施設なので、課題は維持管理を県が行っていくことだが、速やかに事業に

乗れるよう対策を進めていく。

Q 防災士を増やす活動は続けていくのか。

A 現在、防災士の総数は63人。地域防災力向上のため助成する。

Q 全国には防災士連絡協議会がある。本町の現状は。

A 協議会はない。自主防災組織との交流やスキルアップにつ

いて検討する。

提言 町の予算でできるなら、幸町団地、神田町3丁目の被害も軽減できる。早急に進めるべきだ。

乳幼児健診

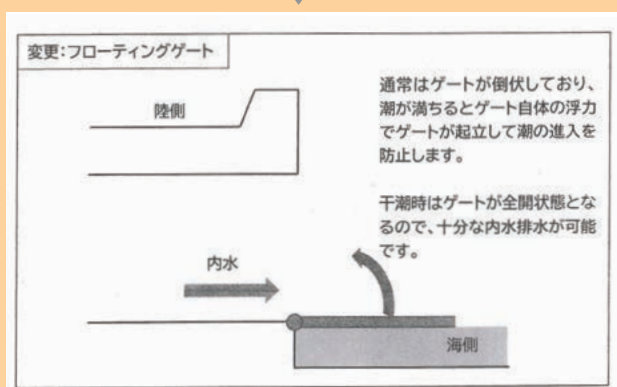
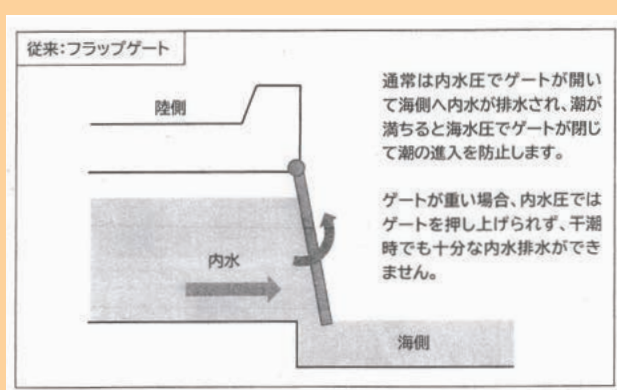
Q 5歳児健診、巡回訪問支援事業の現状は。

A 5歳児健診は行っていない。すすすく

巡回相談を7保育園、4幼稚園で、心理士、保健師が行っている。

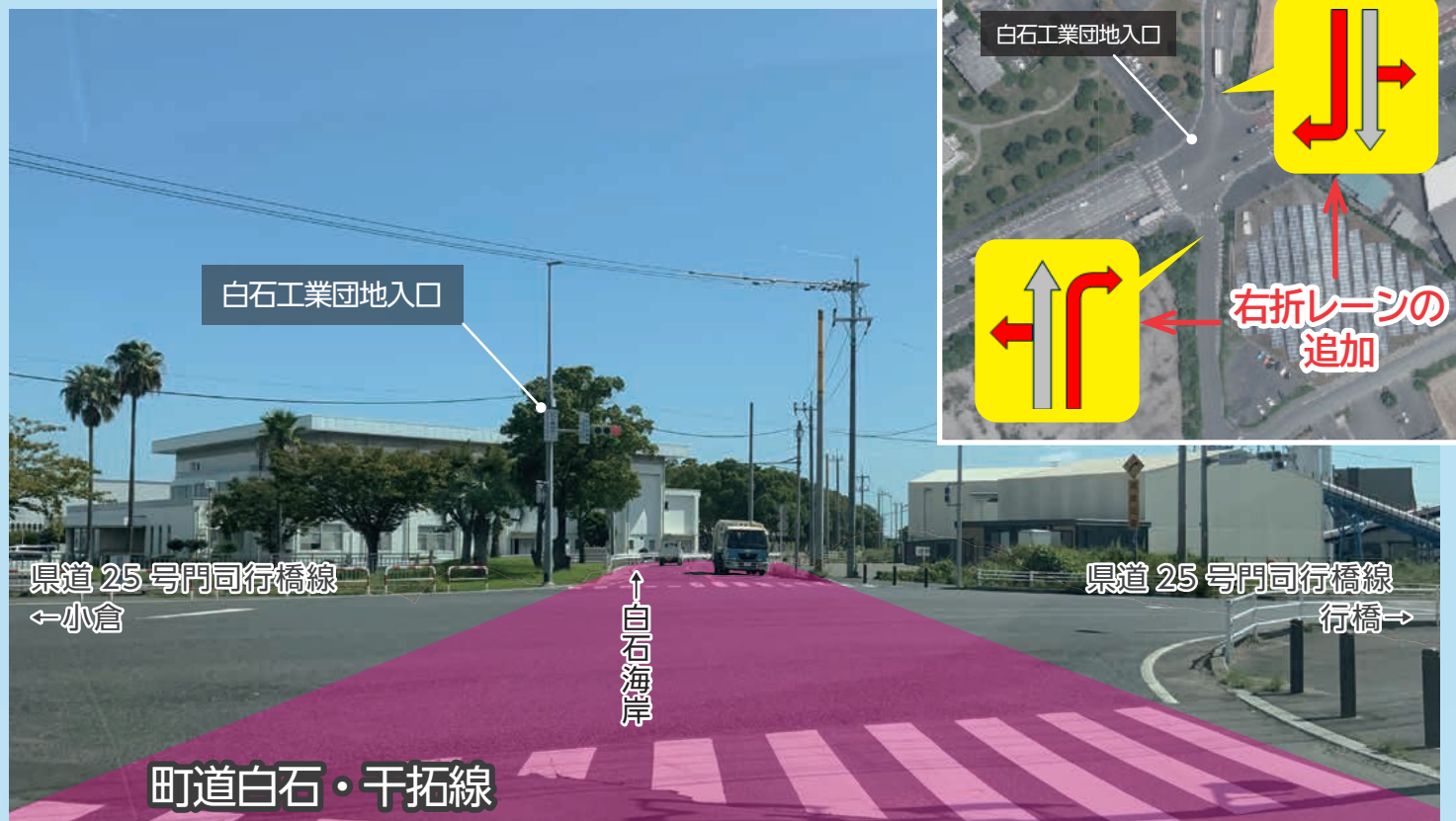
Q 子ども家庭庁は2028年度までにすべての自治体で5歳児健診の実施を目指すしているが。

A 子どもの特性を早期発見し、適切な支援のため重要と認識。5歳児健診を導入していく。

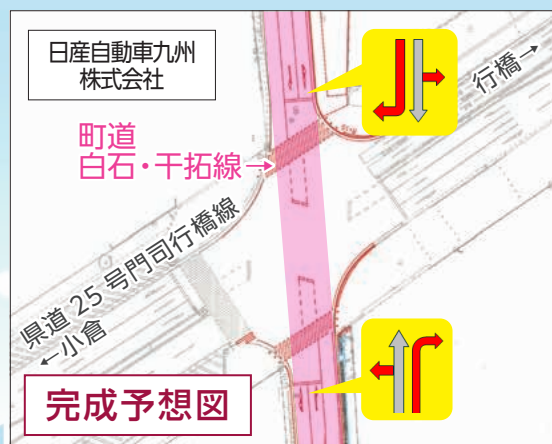


フローティングゲート

白石工業団地入口交差点改良工事



県道 25 号門司行橋線と町道白石・干拓線が交わる「白石工業団地入口」交差点。朝夕のラッシュ時には慢性的な渋滞が起こっており、近隣住民や通勤者を悩ませています。このため本町では今年度、渋滞緩和のため、右折レーンを追加する改良工事を行う予定です。工事期間中はご迷惑をおかけしますが、交通渋滞緩和のためご協力よろしくお願いいたします。



表紙の写真



等覚寺棚田の稲刈り

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
角 崎	森 明	福 琢 磨	田 直 樹	末 伸 二	小 信 美	村 智 宣	榎 忠 明

議会広報特別委員会

あとがき

10月13日に大阪万博が閉幕しました。180以上のパビリオンに国内外から多くの方が来場。未来の世界の姿を体験し、そこで感じた発見を、ぜひ今後に生かしてほしいと感じました。

さて、今年の夏は記録的な猛暑に加え、全国各地で線状降水帯が発生し、多大な被害が出ました。災害への備えは、日頃から防災減災について意識することです。地域の防災訓練への参加や、近隣同士つながりを持つことが防災への一歩です。

榎谷 忠明